

第七十五回 帝國議會 貴族院 充ツル爲公債發行ニ關スル法律案

特別委員會會議事速記録第四號

付託議案(追加)

政府出資特別會計法案

陸軍航空工廠資金特別會計法案

資金特別會計法中改正法律案

昭和十三年法律第二十三號中改正法律案

昭和十五年三月十二日(火曜日)午前十時二十九分開會

○委員長(子爵西尾忠方君) 是ヨリ會議ヲ開キマス

○野村徳七君 陸軍ノ軍事費現額百十九億九千五百萬圓ノ使用狀況ニ付テ御尋ネ致シタイノデアリマス、臨時軍事費ノ財源中公債金方百八億一千百萬圓、其ノ現在迄ノ既發行額ハ九十億二百萬圓ニナツテ居リマス、從ツテ各會計カラノ受入レ其ノ他公債金以外ノ財源ガ、既ニ全部受入使用済トナツテ居テモ、豫算ノ上カラ見レバ右公債ノ未發行額ガ十八億九百萬圓ニ相當スルダケノ臨時軍事費ハ未ダ使用サレテナイヤウニ見エルノデアリマスガ、今日迄ノ使用狀況ハ果シテドウ云フ風ニナツテ居ルカト云フコトヲ御尋ネ致シタイ

○政府委員(相田岩夫君) 臨時軍事費ノ豫算ノ殘額ハ二月末ニ於キマシテ約八億九千萬圓ニ相成ツテ居リマス、支那事變公債ノ發行未済額ハ今日ニ於キマシテ十八億四百萬デゴザイマシテ、其處ニ相當ノ差額ガアル譯デゴザイマスガ、此ノ差額ハ國庫金全體ノ現金ノ中カラ支辨サレテ居ルト云フ形ニ相成ツテ居ルノデゴザイマス、此ノ點ハ先ニ豫算總會ニ於テモ二應他ノ政府委員ヨリ

モ御説明ヲ申上ゲタ事項デゴザイマスガ、國庫金ハ總テ一本ノ當座預金デ整理サレテ居リマス關係上、臨時軍事費特別會計ト致シマシテハ、只今申シマシタヤウニ赤字ニナツテ居リマシテモ、他ノ會計又ハ勘定ニ於キマシテ一時現金ノ餘裕ガゴザイマスルト云フト、ソレヲ繰廻シテ使用致シテ居ルノデゴザイマス、之ニ依リマシテ國庫全體ト致シマシテハ公債ノ發行ヲソレダケ少クシ、利拂ヲソレダケ節約致シテ居ルト云フトニ相成ツテ居リマス、併シソレカト言ッテ屢、御尋ラ蒙ル問題デゴザイマスガ、新規公債ノ發行豫定額ヲソレダケ減シテシマフト云フ譯ニハ參ラナイノデゴザイマス、ト申シマスノハ、此ノ外カラ繰廻シテ居リマスル現金ハ、結局之ヲ又其處ニ返シテヤリマセスケレバ、ソレトノ會計、或ハ勘定ニ於テ支障ヲ來スノデアリマシテ一時の現金ノ繰廻シガ付クカラ、ソレデ公債ノ發行額ヲソレダケ減スト云フトニナリマシテハ、一切ノ計畫ガ樹クナイコトニナリマスノデ、併シ此ノ公債ノ發行豫定額ヲ減スコトハ出來マセスガ、併シ只今申シマシタヤウニ國庫金ト致シマシテハ一本ノ當座預金ニナツテ居リマス關係上、現金ノ繰廻シニ依リマシテソレダケ公債ノ發行ガ、從ツテ利拂ガ節約サレテ居ル、斯ウ云フ關係ニ相成ツテ居ルノデゴザイマス

○野村徳七君 能ク分リマシタ、結局サウ云フ一時的振替勘定ハ國庫トシマシテハ公債ノ利拂金ヲ節約スル結果ニナル譯デアリマス

マスカ

○政府委員(相田岩夫君) 左様デゴザイマス

○野村徳七君 分リマシタ

○男爵大藏公望君 私モ大臣ニ伺ハウト思ヒマシタケレドモ、大臣デナクトモ宜シウゴザイマス、テヨツト二三伺ヒタイト思ヒマス、何カ現在特別會計カラ一般會計ニ繰入金ヲモット増加スルヤウナ御工夫ガアリマスマイカ、一般ニ特別會計ノ方モ大變成績ガ好イノデ、少シデモ公債ヲ減スト云フ意味ニ於テ、何カサウ云フ風ナ御計畫デモアリマセウカ、如何デスカ

○委員長(子爵西尾忠方君) 大藏男爵ニ申上ゲマスガ、主計局長ガ今來ラレルサウデアリマスカラ、ソレ迄ドウゾ……

○男爵大藏公望君 ソレナラバ是ハ如何デゴザイマセウカ、公債ノ増加ト云フトガナカノ問題ニナツテ居ルヤウデアリマスガ、現在以上ニモット公債ヲ消化セシメルト云フ御工夫ガアリマセウカ、言ヒ換ヘマスタラバ或ハ場合ニ依ツテハ強制的ニ國民ニ公債ヲ持タセルト云フ工夫モ考ヘラレルノデスガ、何カサウ云フトニ關シテ御計畫ガアリマセウカ

○政府委員(入間野武雄君) 國債消化ニ關シマシテ、御尋デゴザイマスガ、只今ヤツテ居リマスルノハ御承知ノヤウニ一方ニ於キマシテハ預金部引受ガアリ、他方ニ於キマシテハ日本銀行ノ引受ヲヤリ、サウシテ此ノ日本銀行ノ引受致シマシタ國債ヲ或ハ郵便局ヨリ賣出シラフシ、或ハ市中ノ金融機關其ノ他ニ賣却シテ居リマス、而シテ事變發生以來ノ消化ノ成績ヲ見マス、昭和十二年ノ下半期、即チ事變發生後昭和十二年ノ暮迄ノ間ニ於キマシテ、發行致シマシタ國債額ガ十三億圓デゴザイマシテ、其ノ消化割合ハ五五・パーセントノ半ニ相成ツテ居リマス、ソレカラ昭和十三年中ニ發行致シマシタ國債ノ額ガ四十三億三千萬圓デアリマシテ、此ノ消化率ガ八七・パーセントノ半ニ相成ツテ居リマス、更ニ昭和十四年ニ發行致シマシタ國債ノ額ガ五十二億八千餘萬圓デアリマシテ其ノ消化割合ガ八九・パーセントノ二ト云フヤウナ狀況ニナツテ居リマシテ、此ノ事變下ニ於ケル國債消化ト致シマシテハ先ツ上々デハナカラウカト考ヘテ居リマス、只今ノ處國債ノ消化ハ本年ニ入りマシテカラモ相當良イ數字ヲ示シテ居リマシテ、一昨日迄ノ所ニ於キマシテ、九億圓發行致シマシタノニ對シテ、九五・パーセントノ六分ト云フヤウナ消化率ヲ示シテ居リマス、從ヒマシテ只今ノ所ニ於キマシテハ從來ノ方法ニ依リマシテモ相當程度ノ國債ノ消化ハ出來ルト云フ確信ヲ持ツテ居リマスノデ、只今ノ處強制保有等ノコトニ付キマシテハ未ダ考慮致シテ居ラナイヤウナ事情ニナツテ居リマス、左様御了承ヲ願ヒマス

○男爵大藏公望君 大臣ガ御見エニナリマシタノデ大臣ニ御伺ヒシテ宜シウゴザイマス

○委員長(子爵西尾忠方君) ドウゾ……

○野村徳七君 能ク分リマシタ、結局サウ云フ一時的振替勘定ハ國庫トシマシテハ公債ノ利拂金ヲ節約スル結果ニナル譯デアリマス

○政府委員(相田岩夫君) 臨時軍事費ノ豫算ノ殘額ハ二月末ニ於キマシテ約八億九千萬圓ニ相成ツテ居リマス、支那事變公債ノ發行未済額ハ今日ニ於キマシテ十八億四百萬デゴザイマシテ、其處ニ相當ノ差額ガアル譯デゴザイマスガ、此ノ差額ハ國庫金全體ノ現金ノ中カラ支辨サレテ居ルト云フ形ニ相成ツテ居ルノデゴザイマス、此ノ點ハ先ニ豫算總會ニ於テモ二應他ノ政府委員ヨリ

○勇爵大藏公望者 先般本會議ニ於キマシ

テ私ハ斯ウ云フコトヲ御尋ネシタノデアリ  
マスガ、其ノ當時丁度大藏大臣ハイラッ  
ヤラナカッタノデ、總理大臣カラ極メテ概括  
的ナ御返事ガアッタノデアリマスガ、モウ  
一遍出來マスコトナラ大藏大臣カラ稍、具體  
ノ御所見ヲ伺ヒタイト思フノデアリマスガ、  
ソレハ私共一番心配シテ居ル問題ト致シマ  
シテ、現在支那事變遂行ノ爲ニ非常ニ大キ  
ナ金ヲ費消シテ居ル、又物資モ費消シテ居  
ル、一方將來ノ國際情勢ヲ慮ッテ生産力擴  
充、軍備擴張ト云フ風ナコトニモ、又同様  
ノ非常ニ大キテ經濟的ノ發展ヲシナケレバ  
ナラス、同時ニ更ニ第二ニハ日滿支經濟「ブ  
ロック」ノ建設ト云フノデ、日本ノ物資ガ非  
常ニ澤山滿洲並ニ支那ニ流レツ、アル、此  
ノ點ハ殊ニ最近ニ於キマシテ私共非常ニ心  
配ニナッテ參リマシタノハ、現在大連ニ船ガ  
二十何百イカ沖待シテ荷役ガ出來ナイ、荷  
物ガ二三十萬トシ「停滯」シテ居ル、ト申シ  
マスルノハ、北支ノ聯銀券ノ關係ニ於テ非  
常ニ物價ガ高イト云フノデ、日本デ物資ガ  
足ラヌト云ッテ居ルニ拘ラズ、商賣上ノ關係  
カラ非常ニ多數ノ物資ガ北支ヘト流レ込ミ  
ツ、アル、何トカ聯銀券ノ將來モ考ヘナケ  
レバナラス程度迄來ッテ居ルト思ヒマスル  
ガ、ソレハマア聯銀券ノ問題デアリマシテ、  
此ノ日滿支經濟「ブロック」建設ノ爲ニハ、ド  
ウシテモ多數ノ物ガ行カナケレバナラス、  
昨年ハ凡ソ十二億位行ッテ居ルヤウニ考ヘテ  
居リマス、此ノ三ツノ大キナ經濟上ノ行動  
ト云フモノヲ、今後モ同ジ程度ニ日本ノ國  
力ヲ以テ續ケテ行ケルガラウカ、私共ハ無  
論ソレハ日本ガ續ケテ行クコトヲ希望シマ  
スルシ、斷乎トシテ日本ノ經濟力ガ此ノ三

ツフ何レモ完全ニ目的ヲ果シテ尙餘裕ガア

ルコトヲ希望スルノデアリマスルガ、併シ  
今日迄多大ノ物質ノ「ストック」ガアル、ソ  
レニ依ッテ色々便宜ヲ得タ時代ト違ヒマシ  
テ、今後ハドウシテモ「ストック」モナクナッ  
來ルト云フ時分ニ、何トカ矢張り此ノ三ツ  
ニ付テ適當ノ整理按配ガ必要ニナッテ來ル  
ノデハナイカ、續ケテ行ケレバ誠ニ結構デ  
アリマスルガ、續ケテ行カレヌ時分ニ於テ  
ハ一體ドウナルカト云フコトガ、日本ノ將  
來ニ取ッテ一番心配ナ問題ト云フコトヲ  
此ノ間本會議申上ゲタ、此ノ爲ニ日本  
ノ國內ニ於テ色々物資ノ足ラヌト云フコト  
ガ起ル、ソレガ外國ヘ聞エ、蔣政權ニ聞エ  
テ、蔣政權ハモウ直キニ日本ハ經濟的ニ  
没落スルト云フコトヲ鼻息ガ荒イト云  
フコトハ明カナ所デアリマス、此ノ際  
シツカリ何年デモ日本ハ持テ應ヘ得ルト云  
フコトニナレバ、私ハ蔣政權ト云フモノハ  
比較的早イ期間ニ於テハタバルト云フコト  
モ考ヘ得ルト思ヒマスルノデ、此ノ點ニ付  
テ如何御考デアリマスカト云フコトヲ、先  
般本會議申上ゲテ、總理大臣カラハ極メ  
テ抽象的ノ御返事ガアッタノデ、其ノ抽  
象的ノ御返事ハ實ハ満足致シ兼ネマスノ  
デ、何かモウ少シ具體的ノ御説明ヲ得タイ  
ト思ヒマス、ソレニ依ッテ我々ガ豫算ヲ審議  
シマスル上ニ於テモ、安心スル程度迄納得  
ノ行カセルヤウニ御話ヲ承リタイト斯ウ考  
ヘルノデアリマス、赤字公債ヲ出シマスニ  
付テ、無論已ムヲ得ナイコトデアリマスケ  
レドモ、其ノ見透シガ一番大事デヤナイカ、  
斯ウ考ヘマスノデ、第一ニ此ノ問題ヲ御伺  
ヒシタイ、場合ニ依ッテハ速記ヲ止メルナリ  
若シクハ秘密會デモ結構デゴザイマス、十

分打開ケテ御話ヲ願ヒタイ

○國務大臣(櫻内幸雄君) 只今大藏サンノ  
御話誠ニ御尤モノ御意見デアリマス、此ノ  
問題ハ實ニ日本ノ經濟界ニ於ケル所ノ將  
來、又從テ財政ニ關スル所ノ影響ハ非常ニ  
重イコトデアアルノデアアルガ、申ス迄モナク  
新東亞ノ建設ト云フコトノ内容ニ付キマシ  
テハ、日滿支ノ間ニ於キマシテ、最モ密  
接ノ關係ヲ取ッテ互助連環ノ精神ニ依ッテ互  
ニ相協カ相協力シテ行カナケレバナラスコ  
トハ勿論デアリマス、今日滿洲ニ於キマシ  
テモ建設時代デアリマス、北支ハ御承知ノ  
通り戰時狀態ト、竝ニ建設ノ狀態ト兩方ヲ  
兼ネテ居ルヤウナ狀態デアリマシテ、從ッテ  
滿洲ニ於テ新タニ物資ガ非常ニ澤山要ル、  
北支ニ於キマシテモ相當ノ資材ガ要ルト斯  
ウ云フコトハ免レナイコトデアリマシテ、  
御話ノ如ク其ノ滿支ニ對シマスル所ノ日本  
ノ十四年度ノ輸出超過實ニ十二億萬圓程ニ  
達シテ居リマスケレドモ、ソレハ第三國ニ  
對スル輸出超過ト違ッテ、日本ノ内地ノ方カ  
ラ物資ヲ持込ンデ行クコトヲ事情ニアル  
ノデアリマス、サウシテ其ノ十二億萬カラ  
ノ輸出超過ガドウ云フ風ナ品物デアッテ、ド  
ウ云フ風ナ實情デアルカト云フコトヲ調べ  
テ見マス、大體ニ於テノ向フノ建設的ノ  
方ニ投ゼラレタ資本ト相匹敵スルヤウデア  
リマス、北支ハモウ少シ多イノデアリマス  
ガ、大體ニ於テ匹敵スルノデアリマス、サ  
ウシテ此ノ今後ニ對スル見透シニ付キマシ  
テハ、餘程深キ考慮ヲ拂ハナケレバナラスコ  
トハ勿論デアリマシテ、此ノ點ニ付テ可ナ  
リ考究ヲ致シテ居ルノデアリマスガ、併シ  
今後此ノ大キナ物資ヲ更ニ一層繼續シテ日  
本カラ供給ガ出來ルカドウカト云フコトニ

付キマシテハ、是ハ今俄ニ斷言ヲ致シ兼ネ

マスケレドモ、今御話ノアリマシタ聯銀券  
ノ價格ガ下ッテ居ル結果ト致シマシテ、日本  
ノ物資ガ高ク向フニ賣買セラレ、斯ウ云  
フ結果日本カラ品物ヲ多ク取り入レルト云  
フヤウナ傾向モアリマスノデ、此ノ點ニ付  
キマシテハ一ツハ聯銀券ノ價值ヲ維持ト云  
フコトニ付キマシテ、徹底的ニ之ヲ助力ス  
ルト云フ事柄ガ一ツト、同時ニ物資ヲ北支  
ニ入レマスニ付キマシテ、矢張り貿易上ノ  
多少ノ取引ノ關係ノ上ニ於テ、相當ノ調整  
ヲ試ムルト云フコトガハ必要デアラウト  
思ヒマス、即チ北支ニ於ケル所ノ物資ヲ入  
レル途ヲ開キ、同時ニ是ト相對シテ日本ノ  
物資ヲ向フニ入レテ、出來ルダケ其ノ開發  
ニ助力スルト、斯ウ云フ建前ヲ執ラナケレ  
バ相成ラヌト存ズルノデアリマス、聯銀券  
ノ問題ハ色々議論スル人モゴザイマスケレ  
ドモ、日本ト致シマシテハドウシテモ之ヲ  
徹底的ニ維持ヲシテ行ク、之ヲ助力シテ行  
クト、斯ウ云フ方針デ行ク外今日ナイノデ  
アリマシテ、其ノ建前ニ於テ進ンデ行キタ  
イト思フノデアリマス、將來ニ於ケル日滿  
支間ノ所謂事業計畫、又物資ノ日本カラ供  
給スル物、或ハ向フカラ取ル物斯ウ云フ物  
ニ付キマシテハ、所謂綜合的ノ經濟計畫ヲ  
確立シテ、サウシテ其ノ計畫ニ基イテ輸出入  
ヲ致スコトガ最モ必要デアラウト思フノデ  
アリマス、ソレデ殊ニ大藏男爵御承知ノ通  
リ、向フモ今建設ノ最中デアリマスガ、コ、數  
年ヲ出デズシテ、是等ノ事ガ總テ緒ニ就ク  
ヤウニナリマスレバ、向フカラ日本ニ對シ  
テ物資ヲ持ッテ來ル物モ相當出テ來ルヤウニ  
ナルノデアリマシテ、コ、數年間ニ於ケル  
所ノ片貿易ト申シマスカ、サウ云フコトニ

付キマシテハ、日本トシテハ出來ルダケノ  
助力ヲ致シタイト思ヒマスケレドモ、其ノ  
助力ノ結果、日本内地ガ非常ニ困ツテ來ル  
ト云フヤウナコトゴザイマシタナラバ、ソレ  
ハ容易ナラスコトデアリマスノデ、日本ト  
シテハ、日本ガ之ニ依ツテ何等生活上ニモ亦  
産業ノ發展ノ上ニ於テモ差支ナイ程度ニ於  
テ、先方ニ對スル助力ヲ致サナケレバ、今ノ  
御話ノ如ク外ノ侮リヲ受ケルヤウナコトニオッ  
テハ由々シキ大事デアリマシテ、其ノ點ニ付  
テ最モ注意ヲ今拂ツテ居ルヤウナ次第デアリ  
マス、從ヒマシテ今後ニ於ケル此ノ日滿支  
ノ貿易狀態、物資ノ移動狀態、斯ウ云フコ  
トニ付キマシテハ、只今申ス通り、一定ノ  
計畫ノ下ニソレヲ進行シテ行キタイト斯様  
ニ考ヘテ居リマス

○男爵大藏公望君 私人御伺ヒシマシタノ  
ハ、日滿支ノ經濟「ブロック」問題ト云フヨ  
リハ、私ハ日滿支經濟「ブロック」ノ問題ハド  
ウシテモヤラナケレバナラスコトデ、今後  
モ矢張り相當年間續ケテ行クコトヲ初メカ  
ラ覺悟シナケレバナラスカト考ヘルノデア  
リマスガ、御伺ヒシマシタ主點ハ、ソレト支  
那事變ニ要スル物資並ニ費用ノ捻出、生産  
力擴充、軍備擴張ニ關シテ三ツヲ一遍ニ今  
ノ程度ニ遂行シテ參ツテ、日本ガ持チ得ルモ  
ノダラウカ、若シ持チ得ナイモノトスレバ、  
或程度適當ノ制限ナリ、之ニ付テハ具體的  
ノ御案ヲ今拜聽スルコトハ逆モムツカシイ  
コトト思ヒマスルガ、適當ノ敷理按配ガ必  
要ガアルノデヤナイカ、例ヘバ生産力擴充  
軍備擴張ニシマシテモ、日本ノ國力ノ許ス  
範圍内ニ於テヤラナケレバナラス、ソレカ  
ラ外交ノ如キハ出發スルノデ、外交ヲ先キ  
決メテ、英國ガ憎イ、米國ガ憎イノダ、下

イツハ怪シカラヌト言ウテ生産力擴充ヲス  
ルト云フヨリハ、矢張り日本ノ國力ヲ考ヘ  
テ、ソレニ伴ツテ外交ガ出發スベキモノダ  
ト云フヤウニ思フ、又生産力擴充ヲヤツテ  
居ツテモ、其ノ元ノ石炭、鐵、電氣、油ト云  
フ風ナ物ガ何シテ居ツタノデヤムツカシイ、  
ドウモ先キノ方ヘ走ツテ爲ニ、其ノ元ノ方  
ガアレシテ居ルト云フ感シガ見エマスノ  
デ、此ノ三ツノモノヲ今後十年掛ラウガ、  
二十年掛ラウガ、續ケテヤツテ行ケルノダト  
云フ國力ノ程度ニ於テノ所迄引直スニハ、  
何トカ矢張り現在ノ儘デヤ無理デヤナイ  
カ、私ガ言フ迄モナク、支那ノ從來他ノ民  
族ガ支那ニ對シテヤリマシタ時分ニ、數十  
年掛ツタ、二年ヤ三年デ濟ンデルノデヤナ  
イ、對支事變ニシマシテモ、今後數十年掛  
ル覺悟ガ必要デアリ準備ガ必要アル、ソ  
レニシテモ現在ノモノハチツト出張リ過ギ  
テルノデヤナイカト云フ感シガシマスルノ  
デ、何カ之ニ對シテ整理按配ノ御考ガアリ  
マセウカ、具體的ノコトヲ伺フコトモ無理  
ト思ヒマスルガ、現在ノ儘デヤツテ行ケル  
モノデアリマセウカ、行ケナイモノデアリ  
マセウカ、其ノ點ヲ伺ツタノデアリマス

○國務大臣(櫻内幸雄君) 能ク分リマシタ  
デス、詰リ支那事變ト軍擴張ト日滿支三  
國ノ經濟「ブロック」關係、此ノ三ツヲ絡ミ  
合セテ、サウシテ現在ノ日本ノ國力ヲ以テ  
シテ、是ガ遂行シテ行ケルカドウカ、斯  
ウ云フ御質問デアルト思ヒマス、日本ト致  
シマシテハ今日殆ド國家ノ總力ヲ擧ゲテ支  
那事變ニ對處シテ居ルノデアリマシテ、其  
ノ力ガ先刻御話ニナリマシタ蔣介石ノ政權  
ノ方ニ於テハ、日本ハ半年デ財政上參ルデ  
アラウ、一年デ參ルデアラウト考ヘテ居ツタ

コトモアリマシタケレドモ、日本ノ國力ハ  
之ニ堪ヘテ、今日何等動搖ヲ致シテ居ラナ  
イノデアリマス、彼等ガ日本ニ對スル認  
識ヲ私共誤ツタモノト考ヘテ居ルノデア  
リマス、日本ノ現在ノ力ガドノ程度ニア  
ルカト云フコトニ付キマシテハ、財政  
上ノ見地カラ申シマス、ト云フト、國際上  
ノ非常ナ變化ノナキ今日、事變ガ更ニ數年  
繼續シテ參リマシテモ、私ハ何等サウ憂  
慮スベキ點ガナイト考ヘマス、唯物資ノ  
上ニ於テ日本ニナイ、非常ニ生産ガ出來  
ナイ品物ガ二三アリマシテ、此ノ問題ノ如  
キニ付キマシテハドウシテモ正貨ヲ得ナケ  
レバナラス、其ノ正貨ヲ、其ノ必要品ヲ輸  
入スルダケノ正貨ヲ獲得スル途ガ付キサヘ  
スレバ、私ハ此ノ事變ガ長キニ互ツテモ、今  
日ノ程度デアレバ、日本トシテ何等憂慮ス  
ベキコトハナイト思ヒマス、而シテ其ノ輸  
入力ニ付キマシテハ、所謂貿易上ニ於キマ  
シテ相當強イ統制ヲ加ヘテ居リマシテ、輸  
出ニ對シマシテハ極力獎勵致シテ居リマス  
ルガ、輸入品ニ對シテハ相當嚴重ナル制限  
ヲ加ヘテ居リマシテ、大體ニ於テ或ハ産金  
デアルトカ或ハ金ノ蒐集デアルトカ、或ハ  
輸出ノ増大デアルトカ、斯ウ云フモノニ依  
テ、日本ノ今日ノ程度ハ之ヲ維持シテ行ク  
コトハ差支ナイト思ヒマス、唯支那事  
件ノ遂行ト併セテ、支那ノ開發、滿洲ノ開  
發、斯ウ云フコトヲ併セ行ヒマス上ニ於  
テ、其ノ力ガドウデアアルカト申シマスル  
ト云フト、是ハ餘程日本ト致シマシテハ考ヘ  
ナケレバ、此方ニ非常ナ金額ヲ入レテ、費  
用ヲ入レルト云フコトニナリマス、ト一方ニ  
輸入力ガ減少シテ來ルト云フ虞ガアルノ  
デアリマス、併シ一面カラ申セバ、滿洲ナ

リ北支ナリニ於ケル所ノ鐵ナリ石炭ナリ鹽  
ナリ、斯ウ云フ日本ガ外國カラ仰イデ居ル  
品物ヲ一日モ速カニ生産ノ出來ルヤウニ致  
シマシテ、サウシテ日本ノ輸入ヲ減少シ、  
サウシテ他ノドウシテモ買ハナケレバナラ  
ナイ物ノ輸入力ニ引當テルト云フ事柄ガ大  
事デアリマスルノデ、茲ニ於テカ、今日非  
常ナ困難ヲ嘗メナガラ、北支ノ開發、並ニ  
滿洲ノ開發ニ對シテ、滿洲ノ生産力擴充ニ  
對シテ、少カラザル助力ヲ致シテ居ルヤウ  
ナ譯デアリマス、其ノ助力ヲ繼續シテ行ツテ  
長キニ互ツテ之ヲ援助シテ行クコトガ出來  
ルカ、斯ウ云フコトゴザイマスルナラバ、  
ソレハコ、一兩年足ラズシテ、此ノ生産力  
ガ擴充セラレテ、サウシテ聲價ヲ上ゲテ來  
ルヤウニナリマスレバ、私ハ茲ニ於テ日滿  
支三國間ノ經濟ガ綜合的ニ確立スルノデア  
リマシテ、サウナレバ少シモ心配ハナイト  
思ヒマス、唯此ノ生産力擴充ノ計畫ガ遂行  
セラレマス迄ノ間ニ於テハ、ドウシテモ日  
本國民ト致シマシテハ、一層今日以上ノ大  
覺悟ヲ以テ事ニ當ラナケレバイカヌデアラ  
ウト斯ウ考ヘルノデアリマス、ソレデ國內  
ニ於キマシテモ更ニ國際情勢ニ鑑ミテ、軍  
備ノ擴張ヲシナケレバナラス、サウシテ一  
面ニ於テ滿洲ニ對シテモ助力シナケレバナ  
ラス、斯ウ云フコトデアリマシテ、是ガナ  
カナカ思フ通りニ進捗致サナイノデアリマ  
ス、此ノ進捗ヲ致スコトニ付テハ特ニ力ヲ  
致サナケレバナラスト思ツテ居ルノデアリ  
マス、御話ノ三拍子揃ツテ行クノニ日本ノ  
國力ガ堪ヘ得ルヤ否ヤト云フコトニ付キマ  
シテハ、私ハ是ハ日本國民ノ決心次第ニ於  
テ堪ヘ得ルモノト固ク信ジテ居ル者デアリ  
マス、今後國際情勢ノ變化ニ依ツテ、異常ナ

ル變化ノナイ限り日本ト致シマシテハ所謂日滿支三國ノ協同ノ努力ニ依リテ、東亞ノ新秩序ヲ建設シ、而シテ東亞ノ隆盛ヲ圖リテ行クコトニ於テ差支ナイト斯様ニ今日信ジテ居リマス

○男爵大藏公望君 御話ニ依リマシテ非常ニ安心致シマシタ、日本ガ此ノ三ツノモノヲ遂行シテモ、現在ノ力ヲ以テシテ十分ニ國民共ニ其ノ覺悟ニナレバ堪ヘルト云フ御話ヲ伺ヒマシテ、非常ニ安心致シマシタ、一ツツレニ關聯シテ伺ヒタイノハ、私モ實ハ

日本ニハ物資ガ必ズシモ乏シイノデヤナイ、日滿支ヲ合セレバ誠ニ相當ノ物資ガアルト思ヒマスルケレドモ、唯機構ト申シマスカ、制度ト申シマスカ、今日迄國民ノ間ニ相當ノ不安ヲ招來シテ居ル事實ガアリマス、之ニ對シテ事變以來政府ガ別段ニ方策ヲ御執リニナラス、物ガナクナツテカラ履、慌テテ色々ナ機構ヲ考ヘルト云フ點ガ非常ニ大キナ點デハナイカ、國民ニ向テ協力ヲ御求メニナルコトハ誠ニ御尤モト思ヒマスルガ、併シナガラ政府自身ノ考ヘ方ガ、物ガ無クナツテ急ニ慌アルト云フノデ、詰リ「ドイッ」キ「イギリ」ス「ノ」今度ノ戰爭ニ對スル準備ヲ聞キマシテモ、非常ニ日本ノ方デハ後手々々ト打ツテイラツシヤルヤウナ感ジガ致シマスシ、今日ニ於キマシテモ尙色々ナコトノ御心配モアリマセウガ、ナカ「先手ヲ御打チニナラス、物資ノ配給、國民生活ノ安定ニ關シテ、先手ヲ御打チニナラスヤウナ感ジテ非常ニ持ツノデアリマスガ、何カ之ニ對シテ政府ガ或ハ米或ハ薪炭其ノ他ニ付テ……ガソリ」ン「ダケハ既ニ切符制ヲ實行シテイラツシヤイマスガ、私ハ必ズシモ切符制度トハ申シマセヌガ、有ラユル物資ニ對シ國民ガ日常

使フ物資ニ關シ先手々々ヲ打ツテ、是ナラ大丈夫行ケルノダト云フ具體的ノ方法ヲ御示ニナリマセヌト今御話ノ通り大丈夫ダト御話ニナツテモ、扱ドウダラウカト云フコトノ疑問ヲ國民ハ齊シク持ツ、尙斯ウ云フ方法ヲ御執リニナレバ是デ先ツ行ケルノダト云フ風ナ安心ヲ與ヘル方法、御工夫ガ肝腎デナイカト思フノデアリマス、如何デアリマスカ

○國務大臣(櫻内幸雄君) 國民生活ノ安定ヲ圖リマスコトハ、是ハ最重要デアリマシテ、殊ニ食料品ノ如キ問題ニ付キマシテハ、是ハ絶對的ナモノデアリマスノデ、此ノ點ニ付キマシテハ、政府トシテモ深ク注意ヲ拂ツテ居ル所デアリマス、從ヒマシテ昨年ノ初メニ於キマシテモ非常ニ大キナ金額ヲ出シテ生産ヲ獎勵ヲ致シ、其ノ他種々雜穀等ニ付キマシテモ増産計畫ヲ樹テテ參ツテ居ルノデアリマスガ、偶、中朝鮮ノ大旱害、關西ノ大旱害デ少シク豫定ガ狂ヒマシタノデ、遂ニ外米ヲ買フヤウニナツタノデアリマス、今日ト致シマシテモ此ノ端境期等ニ對スル安定ヲ致シマスル爲ニハ、如何ナル方法ヲモ執ル考デアリマシテ、少シモ不安ノナイヤウニ致シタイト考ヘテ居リマス、ソレニ付キマシテハ生活上必要ナ物ニ對シテ特ニ切符制度ノ如キ配給制度ヲ執ルトカ、或ハ割當制度ヲ執ルトカ云フコトハ、是ハ考慮サレル問題デアリマスガ、ドウモ日本ハ斯ウ云フ事柄ニ付テ慣レナイ國民デアリマシテ、若シ此處デ何等カノ品物ニ對シテ割當制度ヲ執ルトカ、切符制度ヲ執ルトカ云フヤウナコトガチヨツトデモ外ニ現レマスト、忽チニ品物ガ隠レル虞ガアルノデアリマス、物ガアツテモ物ガ隠レテシマツテ少

シモ出テ來ヌ、斯ウ云フ風ナ狀態デアリマスノデ、若シサウ云フ事柄ヲ實行致シマスニ致シマシテモ、其ノ間際迄總テ準備ガ完成スル迄ハ、外ニソレガ漏レテハ相成ラヌキウニ考ヘルノデアリマス、ソレデ最近ニ至リマシテハ御承知ノ通り色々ナ配給デアルトカ、生産等ニ付キマシテモ、特ニ國自ラモヤツテ居ルヤウナ狀態デアリマスガ、サウ云フ問題ニ付キマシテ總テ配給方面ニ力ヲ入レテ、特ニ之ヲ一元的ニ統制スルヤウナ途ヲ徐々トシテ執ツテ來テ居ル譯デアリマス、此ノ體制モ漸次緒ニ付テ來ルノデハナイカト、斯様ニ思ツテ居ルヤウナ譯デアリマス、ソレデ生活上ノ必需品並ニ輸入ニ俟ツテ居ル物ニ付キマシテハ、相當ニ統制ヲ執ツテ行ツテ、一面ニ於テ生活上國民ガ少シモ不安ガナイト云フ風ナ建前ニシテ行カケレバナラヌト思ツテ居リマスガ、斯ウ云フ時代デアリマスカラシテ、一面カラ申セバ消費ノ節約ト云フコトニ對シマシテモ力ヲ入レテ、サウシテ此ノ生活上ノ不安ヲ除キ、サウシテ軍需資材ノ輸入ニ對シテハ、他ノ一般輸入品ノ消費節約ヲ致シマシテ、ソレヲ十分統制ヲ執ツテ、サウシテドウシテモ輸入シナケレバナラス物ノ輸入ヲ圖ツテ行フ、斯ウ云フ建前デ色々ナ方面ニ對シテ施設ヲ致シテ居ルノデアリマスガ、御承知ノ通り此ノ問題ニ付キマシテ特ニ注意シシナケレバナラヌノデアリマスカラ、此ノ上共尙一層此ノ點ニ付キマシテハ力ヲ致ス考デアリテ進ンデ居リマス

○男爵大藏公望君 次ニモウ一ツ伺ヒタイノハ、確カ大藏大臣ガ衆議院ノドナタカノ御質問ニ對シ、一般會計ノ將來ヲ質問サレタ方ニ對シテ、ソレハ今年一般會計ガ大體基準ニナル、ソレニ國債利子ノ増加、恩給年金ノ増加位ダト云フ風ナ御答辯ヲシテ此ノ先ナカ「一般會計ノ將來ガ、本年度ノ一般會計ガ基準ニナラヌデ、例ヘバ官吏増俸ノヤウナ問題モ起リマセウシ、又一般會計ニ於テ矢張り米内閣トシテノ色々理想實現ニ御努力ナサラナケレバナラヌ點ガアルノデハナイカ、先般モ是亦本會議ニ於テ希望ナリ意見ナリ申シ、又ハ御意見ヲ伺ツタノデアリマスガ、例ヘバ科學ノ研究機關ニ對シマシテ、日本ノヤウナ物資ノ少イ國ニ於テハ、ドウシテモ大キナ科學研究機關ヲ一ツ造ラナケレバナラヌト云フ風ナコトヲ伺ヒ、若シクハ國民ノ教育ニ關シ、餘程大掛リノ精神教育ノ方法ヲ講ジナケレバナラヌデヤナイカト云フコトヲ申上ゲマシタ、サウ云フコトヲ考慮ニ入レマス、ナカナカ一般會計ノ將來ガ本年度一般會計ノ基準ニナラヌデ、相當ニ殖エル餘地ガアルノデヤナイカ、然ルニ一方ニ一般會計ヲ何カノ手段ニ依ツテ節減サル、餘地モ相當考ヘラレドヤナイカト云フ風ニ考ヘルノデアリマス、根本的ニ一般會計ノ將來ト云フモノハ、本年度ヲ標準トセズニ御高メニナルヤウナコトノ必要ヲ私共ハ考ヘルノデアリマスガ、如何デアリマスカ

○國務大臣(櫻内幸雄君) 私ガ其ノ機會ニ於テドウ云フ風ナ言葉ヲ以テ申上ゲタカ知リマセヌケレドモ、大體ニ於テ現在ノ豫算程度ガ今後引續イテ國費トシテ支出サレルモノデアル、斯様ニ申シタト記憶致シテ居リマス、而シテ出來得ル限り現在ノ豫算程度ヲ支持シテ、此ノ以外ニ當然増加致スモノハ已ムヲ得ヌケレドモ、餘リニ豫算ノ膨

膨

賬ヲ來スト云フ事柄ハハ控ヘナケレバナ  
ラヌ、見透シトシテハ今回ノ豫算程度ヲ基  
準トシテ進ンデ行キタイト、斯ウ云フ風ニ  
申シタト記憶致シテ居リマスガ、勿論米内  
内閣ノ政治上ニ對スル所ノ抱負經綸ト申シ  
マスカ、新シイ所ノ施設ト云フコトニ付キ  
マシテハハ、當然起テ來ル問題デアリマシ  
テ、爲サナケレバナラヌ事柄デアリマス、  
併シナガラ現在ノ豫算ノ中カラソレヲ節約  
シテ行ク、サウシテ節約ヲシテ新タナル仕  
事ヲ爲スト云フ事柄モ、是モドウシテモ考  
ヘナケレバナラヌコトダト思ヒマス、即チ  
明年度ノ豫算ノ編成ニ當リマシテハ出來得  
ル限りノ經費ハ節約致シ、サウシテソレニ  
代ルニドウシテモ又爲サナケレバナラヌ事  
柄ニ對シマシテハ之ヲ實行シテ行ク、即チ  
國運ノ伸張ニ相伴ヒマシテソレニ適切ナル  
關係ニアル所ノ支出ヲ是ハドウシテモシテ  
行カナケレバナラヌト思ヒマス、今ノ御話  
ノ、今日世界ガ科學的競争ノ時代ニアル場  
合ニ於テ、此ノ仕事ノ如キハ最モ力ヲ入レ  
ナケレバナラヌト云フコトハ固ヨリデアリ  
マシテ、或バ精神教育ノ上ニ於キマシテモ  
サウデアリマスガ、サウ云フヤウナ事柄ニ  
付キマシテハドウシテモ是ハ新タニモウ少  
シ從來ノヤリ方以外ニ考慮ヲ拂テ進ンデ  
行カナケレバナラヌコトハ勿論デアリマシ  
テ、從ヒマシテ斯ウ云フ點ニ付キマスル所  
ノ經費ノ捻出ヲスルト云フコトハハ當然  
致スベキ筈デアリマス、唯現在ノヤッテ居ル  
事柄ヲ其ノ儘全部毎年々々繼續シテ、毎年  
毎年新タナル仕事ニ投ズル金ガ其ノ儘ド  
ン殖エテ行クト云フヤウナ事柄ハ、是ハ  
出來得ル限り慎マナケレバナラヌコトデア  
リマシテ、現在考ヘテ居リマスノハ、餘リ

豫算ヲ膨脹セシメズシテ、サウシテ現在ノ  
豫算程度ヲ基準トシテ進ンデ行キタイト、  
斯ウ思ツテ居ルノデアリマス、官吏増俸ノ  
話モアリマシタガ、是モ御承知ノ通り昭和  
六年ニ減俸ヲ致シテ居ルノデアリマシテ、  
今日ノ物價騰貴等ノ現狀カラ考ヘテ見マス  
ト、是モ減俸復活カ、若シクハ増俸ト云フ  
コトモ考ヘナケレバナラヌコトデアリマス  
ケレドモ、現在經濟界ニ於テ九・一八ノヤウ  
ナ所謂賃金停止令等ヲ出シテ居ル際デアリ  
マシテ、官吏自ラノ方ニ於テ左様ナ増俸ヲ  
今直チニヤルト云フ事柄ハ、是ハ慎ムベキ  
コトデアルト考ヘテ居ルノデアリマス、併  
シ是ガ永續的ニ此ノ儘置イテ宜イト云フ  
風ニハ考ヘナイノデアリマシテ、適當ナ財  
政計畫ヲ立テマシテ、其ノ上ニ於テソレ等  
ノコトニ付テ考慮ヲ拂ハナケレバナラヌ  
ト、マア斯様ニ存ジテ居ル次第デアリマス、  
唯ナカノ經費節約致スト云フ事柄ハ容  
易ナコトデアリナイノデアリマシテ、今回ノ豫  
算ガ實ニ龐大ナ豫算デアリマスケレドモ、此  
ノ豫算ノ中デ不應ナシニ支拂ハナケレバナラ  
ヌ所ノモノガ可ナリ多クアルノデアリマス、チヨ  
ト一例ヲ申シマス、今年ノ豫算ハ御承知ノ通  
リ一般豫算ニ於テハ五十八億八千萬圓デア  
リマスガ、其ノ中デ國債費デアルトカ、年金  
恩給デアルトカ、諸拂戻補填金デアルトカ、  
臨時軍事費特別會計ノ繰入金デアルトカ、  
モウ決ツタ金額ガ約十六億九千萬圓程ニナ  
テ居リマス、其ノ他陸海軍ニ特別ノ關係ガ  
アリマスガ、其ノ陸海軍ニ關スルモノガ二  
十三億圓デアリマス、一般ノ文治各省ニ屬  
スル經費ガ僅カニ十八億八千萬圓デゴザイ  
マス、其ノ中デモ亦地方分與稅デアリマス  
トカ、警察連帶支辨金デアリマストカ、義

務教育費國庫負擔金デアリマストカ、ドウシ  
テモ已ムラ得ズ出サナケレバナラヌモノガ  
五億六、七千萬圓アルノデアリマシテ、結局  
此ノ繰延トカ、或ハ削減トカ云フ目標ニナ  
ルモノハ軍部ノ費用ヲ除イテハ僅カニ十三  
億何千萬圓シカアリマセヌノデ、之ヲ何割  
引キマシテモナカノ大キナ金額ハ出マセ  
ヌ從ヒマシテ他ノ所謂軍事上若シクバ軍部  
ノ費用ニ付テモ考慮ヲ求メナケレバ、所謂  
新タナル所ノ仕事ヲ爲ス費用ハ出テ來ナイ  
譯デアリマスガ、此ノ點ニ付キマシテハ私  
ト致シマシテハ、能ク此ノ豫算實施ニ當ッテ  
物トノ關係モ考慮シ、經濟上ノ情勢モ考慮  
シマシテ十分其ノ點ニ付テ慎重ナル考慮ヲ  
拂ッテ行キタイト思ヒテ居リマス、サウシテ  
將來ニ互ッテ新タニ爲サナケレバナラヌ大  
切ナ事柄ニ付キマシテ、明年度ニ於キマシ  
テハ是ハドウシテモ新規ニ要求ヲシテ議會  
ノ御審議ヲ煩シタイト、今斯様ニ考ヘテ居  
ルヤウナ譯デアリマス

○男爵大藏公望君 私未ダ二、三アリマス  
ルガ、時間モアリマセヌノデ、外ノ方々ノ御  
質問モアリマセウ、私ハ是デ遠慮致シマス  
○委員長(子爵西尾忠方君) 今日ハ御約束  
致シテ置キマシタケレドモ、大藏大臣ガ已  
ムラ得ナイノデ、明日御都合御願ヒ出來ル  
サウデアリマスカラシテ、大體サウ云フヤ  
ウナ...明日ニ一ツ御願ヒシタラドウカト  
思ヒマスノデアリマス、拓務大臣ノ方ノ御  
質疑ガアラウカト思ッテ拓務大臣ニ御交渉  
致シタイト思ヒマスガ、如何デセウ、宜シ  
ウゴザイマスカ

○男爵大藏公望君 丁度主計局長ガ御見エ  
ニナリマシタノデ、先程ノ伺ツタコトノ御答  
辯ヲ得ラレバ大變仕合セデゴザイマス

○政府委員(谷口恒二君) 先刻ノ大藏男爵  
ノ御尋ネハ特別會計カラ一般會計ヘノ繰入  
ニ付テ増加スルコトガ出來ルダラウカト云  
フ御尋デアツト拜承致シタノデアリマス  
ガ、特別會計カラ一般會計ニ繰入ヲ致シマ  
ス問題ニ付キマシテハ、御承知ノ通りニ四  
五年前カラ此ノ特別會計及ビ一般會計間ノ  
調整ト云フヤウナ題目ノ下ニ、考ヘテ纏メ  
マシテ、特別會計中餘裕ノアル會計カラ一  
般會計ヲ援ケルト云フコトガ行ハレタノ  
デアリマス、處ガ昭和十二年ニ事變ガ始リ  
マシテカラ後ニハ、サウ云フ考ヘ方ノ特別  
會計カラ繰入ト申シマスモノハ臨時軍事  
費特別會計ノ方ヘ集中ヲスルト云フコト、  
大體サウ云フ方法ガ執ラレテ參ツタノデアリ  
マシテ、昭和十五年度ニ於キマシテハサウ  
云フ考ヘ方ヲ以テマシテ、外地特別會計、  
鐵道特別會計、通信事業特別會計カラ一  
般會計ヘ繰入レラ致シマスコトニ相成ッテ  
居リマス、金額ハ大體一億六千餘萬圓ニ  
上ルカト記憶致シテ居ルノデアリマス、  
尤モ其ノ中ニハ事變以來増稅ヲ各外地  
特別會計ニ於キマシテモ、一般會計ト同ジ  
ヤウニ致シテ居ラレマシテ、其ノ中カラモ  
臨時軍事費特別會計ニ繰入レルト云フコトヲ  
シテ參リマシタノデ、從來ノ餘裕ノ財源カ  
ラ繰入レマスモノ、ソレカラ増稅ニ依リマ  
シテ繰入レマスモノヲ合計致シマシテ、昭  
和十五年度ニ於キマシテハ各特別會計カラ  
臨時軍事費特別會計ニ繰入レマスモノガ一  
億六千餘萬圓ト云フコトニ大體相成ッテ居  
ルノデアリマス、サウ致シマシテ特別會計  
カラ一般會計ノ方ヘ入レルト云フ是ガ御尋  
ノ方ノ要點デアルノデアリマスガ、一般會  
計ノ方ヘ入レマス問題ハ、如何相成ッテ居リ

マスカト申シマスルト、各地特別會計、鐵道、通信ノ特別會計ノ繰入ガ主トシテ臨時軍事費特別會計ヘヤツテ居リマス現狀トシテハ、ソレ等ノ特別會計カラ一般會計ヘ入ッテ參リマスモノ、南洋廳特別會計カラ一般會計ヘ入レテ居リマスモノガ、昭和十五年度ニ於キマシテハ七十萬圓トナツテ居ルデアリマスガ、ソレダケデアアルデアリマス、南洋廳特別會計ハ南洋廳ノ性質上、軍事ト關係スルト云フコトガ好マシクナイデアリマシテ、臨時軍事費ノ方ヘ入レナイデ、一般會計ヘ七十萬圓入レマシテ、此ノ他ノ外地特別會計ト歩調ヲ合スト云フコトヲ、サウ云フ義務ヲ南洋廳特別會計トシテハ果シテ居ルト云フ關係ニ相成ツテ居ルデアリマス、ソレカラ特別會計カラ一般會計ヘノ繰入ノ問題ニ付キマシテハ、只今稍、難然ト致スコトニ相成リマシタガ、御説明ヲ申上ゲマス、外地、鐵道、通信ト云フヤウナ特別會計ノ外ニ預金部ノ特別會計カラ一般會計ニ繰入レテ居ルノガアルデアリマス、是ハ昭和十五年度ニ於キマシテハ六百萬圓ニナツテ居ルデアリマスガ、此ノ預金部ノ特別會計カラ一般會計ヘ入レテ居リマス問題モ、矢張り是ハ特別會計カラ一般會計ノ繰入ノ問題ノ一部トシテ御話申上ゲルベキデアルト思フデアリマスガ、是ハ稍、性質ヲ異ニ致シマシテ、是亦御記憶ニ新タナルコトト思フデアリマスガ、先年郵便貯金ノ利子ノ引下ゲヲ致シマシタコトニ依リマシテ預金部ノ會計ニ餘裕ヲ生ジマシタ、其ノ系統ニ於キマシテ六百萬圓先年入レルコトニナリマシタ、引續キ金額ヲ移動セズシテ今年モ六百萬圓ニ相成ツテ居ルデアリマス、之ヲ要シマスルニ其ノ

特別會計カラ一般會計ヘ入リマス金額ハ、昭和十五年度ニ於キマシテハ六百七十萬圓、預金部カラ六百萬圓、ソレカラ南洋廳特別會計カラ七十萬圓、合計六百七十萬圓ト云フコトニ相成テ居ルデアリマス、念ノ爲ニ一言附加ヘテ置キタイト思フデアリマスガ、特別會計カラ一般會計ヘ入レマス金額ハ、其ノ他ニモ實ハマダ多々項目モアリ、金額モアルデアリマス、ソレハ各特別會計ニ必要ト致シマスル建築、營繕費ヲ一般會計ニ入レマシテ、一般會計ニ於キマシテ營繕管財局ニ於テ營繕ヲ致シマスト云フ關係ニ於テ入レル金額等モアルデアリマシテ、特別會計ヨリ一般會計ノ繰入額ト云フコトヲ網羅的ニ御話ヲ致シマスト云フコトニナリマスレバ、只今申上ゲマシタ六百七十萬圓以外ニ於テモマダ項目トシテ申上ゲナケレバナラス點モアリマスシ、金額トシテ追加ヲ致サナケレバナラス金額モアルデアリマスガ、實ハ御質問ノ要旨ハ、サウ云フ建築費、營繕費ニ入レルト云フコトデナシニ、一般會計ノ財源ノ問題トシテノ増額ガ可能ナリヤト云フコトガ御質問ノ要點デアルト斯ウ思ヒマシタノデ、從ヒマシテ其ノ趣旨ト云フモノヲ拜聽致シマシテ、ソレヲ前提ト致シマシテ御話申上ゲルト云フコトニナリマスルト云フト、只今申シマシタ預金部ノ六百萬圓、南洋廳ノ七十萬圓、此ノ六百七十萬圓ガ昭和十五年度ニ於キマシテ特別會計ヨリ一般會計ヘ繰入レルベキ金額ノ合計デアアルデアリマス、此ノ金額ガ増加シ得ルモノデアアルカドウカ、更ニ又預金部、南洋廳ノ以外ノ特別會計カラ一般會計ヘノ財源ヲ助ケル意味ニ於テ繰入額ヲ新タニスルト云フコトガ可能デアるか、ド

ウカト云フ點デアリマスガ、是ハ預金部會計カラ一般會計ニ入レマス金額ト云フモノハ是ヲ増額致シマスト云フコトハ絕對ニ不可能デアルト云フコトハ申セナイデアリマス、是ハ必ズシモ不可能デアナイデアリマシテ、尙色々當時ノ郵便貯金ノ利子ノ引下ゲノ問題ガケカラ論ジマシテモ、色々其ノ後ノ貯金ノ増加ノ趨勢等カラ議論致シマシテ、増スベキデアアルト云フ理窟モ或ハ付キ得ルデアリマシテ、其ノ他是ハ絕對ニ殖セナイモノデアアルト云フコトハ申セナイデアリマス、南洋廳ノ七十萬圓ニ致シマシテモ、南洋廳ハ勿論各外地特別會計ニ於キマシテモ色々多用ノ際ニハ努メテ一般會計ヲ助ケルト云フヤウナ趣旨ニ近頃ハ出テ戴イテ居ルデアリマスガ、尙七十萬圓ト云フモノヲ或ハ此ノ後ノ情勢ニ依リマシテハ増スコトモ必ズシモ出來ナイコトデハナイト思フデアリマス、其ノ他預金部、南洋廳以外ノ特別會計、例ヘバ各保險事業ヲヤツテ居リマスル特別會計各種ノ社會保險ガ出來テ居ルデアリマスガ、サウ云フ保險ノ事業ノ特別會計、其ノ他ノ特別會計カラモ一般會計ニ新タニ繰入ヲ圖リマスルトハ總ジテ申シマシテモ出來ナイコトデハナイト思フデアリマス、唯各特別會計ノ狀況ヲ見マスト云フト、ソレノ特別會計ニ於ケル所ノ餘裕金ト申シマスモノガ國債ヲ以テ之ヲ保有スル、又預金部ニ之ヲ預金スルト云フコトヲ致シテ居リマスルノガ、是ガ定法ニ相成ツテ居リマス、從ヒマシテ一般會計ニ繰入額ヲ始メルト云フコトト、ソレカラソレ等ノ會計ニ於テ餘裕金ヲ國債ニ運用シ、又預金部ニ預金シ、預金部ハ預金ヲサレタモノヲ更ニ國債ニ運用シテ居ルト云

フ、ソレ等ノ狀況ヲ思ヒ合セテ見マスルト云フト、必ズシモ其ノ國債ニ運用スルトヲ止メサセ、預金部ニ預金スルトヲ止メサセルト云フヤウナ結果ニ相成リマスルヤウナ、一般會計ノ繰入レヲ敢テ強行スルト云フコトニモ當ラナイカト思フデアリマシテ、ソレ等ノ事情ヲ考ヘマシテ強ヒテ繰入ヲ増加スルト云フコトニ強行スルト云フコトモ、必ズシモ必要デナカラウト思ッテ居ルデアリマス、之ヲ要シマスルニ甚ダ諄々シクナツタデアリマスガ、増額必ズシモ不可能デハナイデアリマス、只今サウ云フヤウナ情勢ニアルデアリマシテ、今後ニ於キマシテハ或ハ幾分増額ト云フコトガ起ルカモ知レナイデアリマスガ、此ノ儘大體ニ於キマシテ推移致シマシテモ、大シテ不都合デアリマスマイカト云フ風ニ考ヘテ居リマスヤウナ次第デアリマス

○男爵大藏公望君 非常ニ詳細ナ御答辯ヲ戴イテ有難ウゴザイマシタ、私決シテ無理ニ繰入ヲ願フデアリマセヌノデ、ドウカ御無理ヲナカラスヤウニ御願ヒ致シタイ

○委員長(子爵西尾忠方君) 先刻申上ゲマシタガ、大藏大臣ガ暫ク御都合ガ御付キニナツテ特ニ御出席下サイマシタカラ、大藏大臣ニ對スル御質問ヲ此ノ際願ヒタイト思ヒマス

○野村徳七君 私ハ先程大藏男爵ガ御尋ニナリマシタコトニ關聯シテ居リマスコトデ二三御尋ニ致シタイノデアリマスガ、是ハ此ノ戰時財政ガ此ノ儘尙繼續シテ行キマスト致シマシタ場合ニ生産力ト云フコト、財政ト云フコトハ非常ニ重大ナ關係ガアルコトハ無論デアリマスガ、殊ニ近代戰ハ國家ノ總力戰トモ言ハレテ居ルデアリマス、

經濟力ヲ消耗シ盡シマシタ時方、即チ惡性「インフレーション」時代デアルカト考ヘルノデアリマス、現ニ英佛獨ノ戰線ガ膠著狀態ニアリマスルノモ、經濟方面カラ觀マシテハ、是ハ確カナ一ツノ理由トモ觀察サレルノデアリマス、ドウモ戰爭經濟ト云フモノハ一方デ非常ニ大キナ不生産的ノ消費ヲ餘儀ナクサレテ居ル場合デアリマス爲ニ、可ナリ生産力ノ擴充ニ總力ヲ擧ゲテ努力シテ參リマシテモ、ソコニ色々ナ信號ガ掲ゲラレテ來ルヤウナ風ニモ見エルノデアリマス、現ニ我が國ノ生産狀態モ昨秋以來ハ所謂縮小再生産ト云フヤウナ過程ニ入ッタノデアリマス、又租稅ト公債トノ割合ニ於キマシテモ稅ノ委員會デ藏相ガ御答ニモナッテ居リマスガ、果シテ今後自然増收ト云フコトモ、此ノ勢ヲ以テ繼續シテ行ケルモノカドウカト云フコトモ、色々ナ觀方ガ出來テ來ルヤウニ考ヘラレルノデアリマス、現ニ動力ノ不足、原料ノ不足ト云フモノモ可ナリ各方面カラ懸ヘラレテ參ツタヤウナ狀況デアリマス、其ノ結果ハ生産界ノ企業收益ヲ停頓セシメテ居ル、又既ニ減退セシメテ居ル方面モアルヤウデアリマス、又九月十八日、所謂九・一八ノ俸給賃金停止令ノ適用ヲ受ケテ居リマス、個人ノ收益ト云フモノハ是ハモウ當然減少シテ居ル、之ニ反シテ物價ハ可ナリナ騰貴ヲ一方デ示シテ居ルト云フヤウナ狀態デアリマス爲ニ、果シテ租稅ノ自然増收額ト云フモノニ相當ナ依頼ヲ持ツテ宜イモノデアアルカドウカト云フヤウナ觀察モ下シ得ラレルノデアリマス、寧ロ一般大衆ノ實質的ナ公債ノ消化力ト云フモノハ、著シイ物價騰貴ノ爲、又一面先程カラ御話ニナリマシタ

必ズシモ物資ハ不足シテ居ラナイガ、政策ニ對スル國民ノ人心ノ動搖トデモ言ヒマスカ、サウ云フコトノ爲ニ不當ノ買溜、隱匿ナドガ行ハレマシテ、是ガ可ナリ公債ノ消化力、殊ニ小額公債ノ賣行ニ相當ナ影響ヲ與ヘテ居ルヤウニモ見受ケラレルノデアリマス、何レニシマシテモ公債ヲ完全ニ消化サセテ行クト云フコトハ、何處ノ國ノ戰時經濟デモナカク、容易ナラヌ事業デアリマス、此ノ爲ニ假ニ金融機關ニ致シマシテモ、是等ハ事業資金ノ貸出ノ減退ト云フコトヲ喚ビ起スヤウニナリマス、又社債ノ應募力ノ減退ヲ招クト云フコトニモナリ、勢ヒ生産力擴充ノ妨害ニモナルト云フヤウナコトニモナルノデアリマス、大體銀行預金ト云フモノハ單純ニ預入ガアツテ、サウシテ應募力ガ形成セラレルトバカリ觀ル譯ニモ行カナイノデアリマシテ、所謂貸出ヲ行ツテ、ソコデ信用通貨ガ生レテ、預金ニナッテ來ルト云フヤウナ場合モ亦少カラヌノデアリマス、殊ニ戰時經濟ニ於テハサウ云フ方面ノ方ガ可ナリ重要視シテモ宜イと思フノデアリマス、所謂何ト申シマスカ、ナシヨナルセーヴィンク、國民ノ貯蓄力ト云フコトト、公債保有程度ノ關係ト云フコトニ付キマシテモ今日ハ相當慎重ナ考慮ヲ拂フベキ時期ニ到達シテ來タノデアリカト考ヘラレルノデアリマス、先程銀行局長カラ、本年ニ入りマシテノ公債ノ消化力ヲ伺ヒマシタガ、是ハ大變立派ナ消化力デアリマスケレドモ、是ハ本年一月ニ相當ノ大キナ公債ノ引受、公債ノ買入ノアツタコトモ關係モ致シマスシ、斯ウ云フ現在ノ狀況デ推進シテ行ケバ公債ノ消化力ト云フコトニ付キマシテハ心配ハナイト考ヘルノデアリマスケレドモ、以上

申シマスルヤウナ現象ヲ考ヘマスル時ニ、相當今日ハ考慮ヲシナケレバナラス時代ニ入ッテ來タノデアリカトモ考ヘラレルノデアリマス、現在ハドウシテモ戰時財政トシマシテハ物資ノ豊富、生産力ノ擴充、再生産的ニ活動ガ十分デナイ限りハ、財政ノ維持ト云フコトハ非常ニムツカシイ、ソコニ今日ハ既ニ生産ノ減退ヲ一部デ見、又物資ノ不足ノ聲モ高マッテ參ッテ居ル爲ニ、一抹ノ不安ヲ感ジ得ル次第デアリマス、其ノ點ニ付キマシテ今一應藏相ノ御意見ヲ伺ヒタイノデアリマス

○國務大臣(櫻内幸雄君) 野村サンカラ殊ニ御經驗ニ基ク御意見、私ハ大體ニ於テ誠ニ御尤モダト考ヘルノデアリマス、今日ノ狀態ガ動モスレバ生産擴充ガ思フヤウニナッテ參ラナイ、從ツテ物資ノ缺乏ヲ生ズル、又色々ナ經濟上ニ於テ摩擦ヲ起シテ經濟界ガ十分ニ發達シナイ、其ノ結果トシテ或ハ公債ノ消化力ガナクナルトカ、國民ノ貯蓄力ガナクナルトカ云フコトニ付テノ御懸念ハ私共モ全ク其ノ點ニ付テハ憂ヲ同ジク致シテ居ルノデアリマス、從ヒマシテ私共ノ今日ノ建前ト致シマシテハ生産擴充ト、ソレカラ輸出貿易ニ關スル限リニ於テハ、是ハドウシテモ國防ノ充實ト相俟ツテ、此ノ三點ニ對シテハ全力ヲ傾倒シテ行クト、斯ウ云フ風ヲ考ヲ持ツテ居ルノデアリマス、併シナガラ御承知ノヤウナ今日ノ戰時狀態ト致シマシテハ、ドウモ生産擴充ノ仕事ガ中途半端ニナル虞ガアリマスノデ、是ハ今日ノ狀態トシテハ矢張り重點主義ヲ採ツテ、サウシテ片一方カラ仕事ガ完成シテ行クヤウナ風ヲ組織ヲ執ラナケレバ、皆手ヲ著ケテ中途半端ニナッテハ却テイカヌデハ

ナイカト云フ風ヲ考ヲ以テマシテ、其ノ方針ニ依ッテ生産擴充ノ方途ヲ進メテ行キタイト考ヘテ居ルヤウナ譯デアリマス、ソレカラ只今御話ノ此ノ電力缺乏ヤラ努力缺乏ヤラ、サウ云フモノノ關係上今日産業界ニ及シテ居ル影響ガ甚ダ多イ、是ハ確カニサウデアリマス、特ニ此ノ天候ノ關係モアリマスケレドモ、又一面ニ於テ電力アタリガ十分ニ無ク、又ソレニ要スル所ノ石炭ガ十分採掘ガ増加シナカッタ、斯ウ云フ爲ニ事業界ニ與ヘタル所ノ影響ガ決シテ少クナイト考ヘテ居リマスノデ、先ヅ政府ト致シマシテハ特ニ此ノ石炭増産ニ關シマシテハ特別方策ヲ講ジマシテ、其ノ増産ヲ確保スルト云フコトニ付キマシテ力ヲ致シタイト考ヘテ居リマス、ソレカラ所謂此ノ生産擴充ニ付キマシテハ、特ニ此ノ計畫ヲ立テマシテ、其ノ計畫ニ依ッテ振興スルヤウニ企畫院トモ十分商工省ガ連絡ヲ取ツテヤルコトニ私共モ協力致シテ居ルヤウナ譯デアリマス、ソレデ昨年ノ下期アタリカラ最近ニ至リマス迄ノ間ニ於ケル所ノ關西等ノ事業界ノ形勢ハ御話ノ通り或ハ稅收入ニモ影響ヲ及シ、公債消化ニモ影響ヲ及シ、國民貯蓄ニモ影響ヲ及スノデアリカト云フコトヲ憂慮ヲ致シテ居リマシタガ、幸ニ國民ノ協力ニ依リマシテ、公債消化等ハ既ニ御承知ノ通りデアルト思ヒマスケレドモ、ドウナリ斯ウナリノ成績ヲ擧ゲテ居ルノデアリマシテ、此ノ點ハ甚ダ心強ク感じテ居ルヤウナ譯デアリマス、本年モ此ノ公債ノ基礎トナル所ノ貯蓄ニ付キマシテハ、ドウシテモ昨年ヨリハ多クシタイト考ヘテ居リマス、昭和十四年度ニ於テハ御承知ノ通り百億ト云フ所ノ目標デ進ンデ居リマシタガ、是ハ

間達ヒナク百億ヲ突破スル考デアリマス、明年、即チ昭和十五年度ハ百十億乃至百二十億ヲ見當ニ置イテ計畫ヲ立テテ進シテ行キタイト考ヘマスガ、是モ只今ノ御話ノヤウニ經濟界ノ事情等ニ依リマシテ、豫期ノ成績ヲ得ルコトニ付キマシテハ、餘程ノ努力ヲ要シマスルケレドモ、大體目的ヲ達スルノデハナカラウカ、斯ウ考ヘテ居ルノデアリマス、從ヒマシテ只今御話ノ企業資金、新シイ所ノ生産ニ用ヒマスル企業資金ニ付キマシテハ、少クトモ最小限度四十億萬圓程度、是ハ勿論日滿ヲ通ジテデアリマスガ、四十億萬圓以上ノ計畫ハ立チ得ルト確信致シテ居ルノデアリマシテ、更ニ其ノ上相當多ク出來ルノデハナカラウカト云フノデ、今ソレノ計畫ヲ立テテ居ルヤウナ譯デアリマス、要シマスルノニ此ノ事業界ノ發展ヲ圖リマス上ニ於キマシテハ、色々ナ方面ノ關係モアリマスノデ、物價等ニ付キマシテモ、今日ノ物價ヲ抑ヘテ居ルコトガ、一面カラ見レバ生産擴充ヲ阻害シテ居ルノデヤナイカト云フ懸念モアリマスガ、此ノ點ニ付キマシテハ一刻モ早ク適正ナル價格ヲ拵ヘテ、サウシテ兎モ角生産擴充ノ方ニ國民ガ喜ンデ力ヲ盡スヤウナ風ニ進シテ行キタイト、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマス、今ノ所ハ生産減少ノ傾向ニアリマスコトハ、即チ原動力ガ足ラナイ、努力ガ足ラナイ、資材ガ足ラナイ、斯ウ云フ事柄ガ原因ヲ致シテ居ルノデアリマシテ、此ノ資材ヲ確保スル點ニ付キマシテモ、特ニ力ヲ致シテ居リマシテ、或物ニ付キマシテハ輸入ニ俟テモ仕方ガナイト云フ風ニモ考ヘテ居ルヤウナ次第デアリマス、從來ノ物動計畫ヲ基準ト致シマシテ進行致スコトハ固ヨリデアリ

マスガ、更ニ其ノ計畫ニ付キマシテモ特ニ考慮ヲ拂ツテ、斯ウ云フ場合ニ於テ生産擴充ノ方途ヲ誤ルガ如キコトノナイヤウニ致シタイト十分注意致シテ居ル次第デアリマス

○野村德七君 モウ一ツ伺ヒタイトデアリマスガ、生産力擴充政策ノ遂行ト云フコトニ伴ヒマシテ、此ノ外國貿易ノ促進ト云フコトガ非常ニ效果的デアルト云フコトハ今日迄ノ政府ノ政策トシマシテハ、聊カ退嬰的デアルト云フコトモ亦輿論ノヤウデアリマス、處ガ今日ハ幸ニモ歐洲戰爭ト云フ誠ニ此ノ神風ノヤウナ天佑ノヤウナ事態ガ茲ニ起ツタノデアリマスカラ、餘程其ノ考ヘ方ヲ改メテモ宜イノデハナイカ、現在ノ生産力、不足シテ居ル生産力ノ設備ヲ以テシマシテモ、茲ニ少シ大膽ニ原料ヲ輸入シマシテ、之ニ加工スルコトニ依リマシテ、幾倍カノ外貨トナツテ戻テ來ルコトヲ殆ドモ確言的ニ申シテモ宜イヤウナ産業ガ茲ニ相當アルト思ヒマス、各、其ノ專門ノ生産業者モサウ云フコトヲ今日ハ叫ンデ居リマス、動力ノ不足トカ資材ノ不足トカ云フコトニ今日迄ハ多ク考ヘラレマシテ、此ノ點ニ少シ慎重ニ過ギテ居ル、或ハ「リンク」制ニ依リ、或ハ統制ニ依リ折角歐洲戰爭ガ起ツテ、世界ノ各方面カラ色々ナ聞キ合セガ參ツテ居ルノモ手ガ著ケラレナイト云フヤウナコトニ此ノ際大イニ一ツ目ヲ明テ商工省方面トノ無論御連絡モ取ツテデアリマスガ、貿易政策ト云フコトヲ一變サレルト云フ御考ニ付キマシテ御意見ヲ伺ヒタイト

○國務大臣(櫻内幸雄君) 此ノ戰時財政ノ中ニ於キマシテ戰時下ノ經濟界ヲ維持發展

スル上ニ於キマシテ、又財政ヲ助ケルト云フ上ニ於キマシテ、外國貿易、即チ輸出貿易ニ最モ力ヲ入レルト云フコトハ先刻モ申上ゲマシタ通りデアリマスガ、從來ノヤリ方ガ退嬰的デアルト云フ風ナ御意見デゴザイマスガ、從來モ實ハ相當苦心ヲシテ輸出貿易ノ振興策ヲ執ツテ居ルノデアリマス

○委員長(子爵西尾忠方君) チョット速記ヲ止メテ……

(速記中止)

○委員長(子爵西尾忠方君) 速記ヲ始メテ……

○國務大臣(櫻内幸雄君) 只今申シタヤウナ譯デアリマシテ、今野村サンノ御話ニチリマシタヤウニ、輸出貿易ニ付キマシテハ更ニ一層積極的ナ方途ヲ講ジテ見タイト斯様ニ考ヘテ居ル次第デアリマス

○野村德七君 私ノ質問ハ、是デ大臣ニ對スル質問ハゴザイマセヌ

○委員長(子爵西尾忠方君) 只今御質問ガ途切レタ機會ニ、大臣ガ是カラ外ニ御用ガ御アリニナルサウデアリマスカラ、大藏大臣ニ對スル御質問ハ後日ニ願ヒタイト存ジマス

○風間八左衛門君 私ハ一向専門的ノ知識ガアリマセヌノデ、御尋ネスルコトガ能ク徹底スルカドウカト云フコトヲ心配致シマスルガ、先程公債消化ノ御話ガアリ、強制的ニハ保有セシメテ居ラヌト云フ御話デアリマシタ、只今ノ狀況デサウ云フ風ニ消化ガ巧ク參ツテ居リマスルノハ非常ニ喜バシイ次第デアリマスケレドモ、私ナド民間ノ方ノ聲ヲ聞キマス、果シテ御説明ニナツタヤウニ圓滑ニウマク行ツデルノカドウカト云フ風ニ心配サレルノデアリマス、ソレハ

今ノ九・一八デ俸給ヲ停止致シマシタリ、物價ヲ停止シタノデアリマス、現在デハ、物價モ其ノ値段ヨリ上ツテ居ラナイ、斯ウ云フ建前デアリマスガ、實際カラ申シマス、多少其ノ値段デハ買ヒ得ナイト云フ實情ニアルノデ、生活狀態カラ申シマス、矢張り困難ヲ段々來シテ、物價ガ詰リ高クナツテ、生活困難ニナツテ居ルヤウニ私ハ考ヘルノデアリマス、ソレデアリマスカラ、今日迄ノヤウナ風ニ、果シテ貯蓄ガ出來ルカドウカ、金ガソレ程殘ルカドウカト云フコトガ非常ニ心配サレル、又俸給生活ヲサレテ居ル人デモ、賞與金其ノ他ニ付キマシテハ、公債デ何割カト云フ風ニ割當テ其ノ一部公債ヲ持ツテ居ルノデアリマス、是ガ段々今申シマスヤウニ、物が自然ニアナク方ガ御考ヘ以上ノ値段ナイト買ヘナイ、斯ウ云フコトデ生活ガ困難デアラナラバ……

全ク増俸ハシテ貰ヘナイワ、又賞與慰勞金等モ増額ハシテ貰ヘナイ、ソレニ暗ニ物價ハ上ツテ、生活ハ困難ニナルニ拘ラズ、矢張り公債デ賞與金ノ一部分ヲ貰フト云フヤウナコトニナルト非常ニ困リハシナイカ、現在ノ通りノ方針ノミデ、果シテ將來公債ガウマク圓滑ニ消化サレルカドウカト云フヤウナコトハ、私ハ素人デアツテ能ク分リマセヌガ、サウ云フ風ニ考ヘル、何カモット外ニ此ノ消化ノ方法ニ付テ御名案ヲ御持チ、ニナツテ居レバ御聽カセテ願ヒタイト、斯ウ思ッテ居リマス

○政府委員(入間野武雄君) 風間サンノ公債消化ニ對スル御心配ハ御尤モデアルト存ジマス、只今國債ノ消化狀況ヲ見マスルト、事變發生以來昨年ノ暮迄ニ百九億餘萬圓ヲ發行致シマシタノニ對シテ、九十二億



餘萬圓ノ消化ヲ見テ居リマス、而シテ其ノ消化シテ居リマスルモノノ中デ、金融機關、殊ニ銀行ガ日本銀行カラ買入レマシタ、或ハ又證券業者ノ手カラ買入レマシタリシマスルノヲ合計致シマスルト、大體四二・三「パーセント」位ノ數字ヲ示シテ居ルト存ジテ居リマス、勿論是ハ我が國ニ於ケル貯蓄ノ形式ガ主トシテ金融機關ニ入ッテ來ルト云フ實情ニアリマスルノデ、銀行ガ斯クノ如ク國債消化ニ協力シ得ル所以デアアル、斯ウ存ジテ居リマス、若シモ此ノ貯蓄ガ思フヤウニ行キマセヌケレバ、從テ金融機關、殊ニ銀行ノ國債消化モ鈍ルモノトハ思ヒマス、御示ノ通り一方ニ於テ物價騰貴等ニ困ツテ生活ニ不安ヲ感ジテ居ルコトモアリマセウケレドモ、此ノ非常時ヲ乘リ切リマス爲ニハ、ドウシテモ國債ノ消化、貯蓄ノ獎勵、生産力ノ擴充等ハ之ヲ怠ル譯ニ參リマセヌノデ、政府ト致シマシテモ、貯蓄獎勵ニ付キマシテハ、有ラユル方途ヲ講ジマシテ之ヲ遂行シテ行キタイト思ヒマスシ、又他面消費ノ節約等モ考ヘマシテ、出來ルダケ國民ノ蓄積ヲ計リ、政府資金撒布超過部分等ノ還流等ニ付キマシテモ、萬遺憾ナキヲ期シテ行キタイト考ヘテ居リマス、從ヒマシテ先程大臣カラ申上ゲマシタヤウニ昭和十五年度ニ於ケル貯蓄獎勵ノ目標ヲ百十億乃至百二十億ニ置イテ、政府ト致シマシテハ、極力之ニ努力スル積リデアリマスカラ、從ヒマシテ金融機關ニ集ッテ參リマス金モ從來ヨリモ或ハ多クハナカラウカト考ヘテ居リマス、從ヒマシテ是等ヲ以テ一面ニ於キマシテハ、國債ノ消化ニ當テ、他面ニ於キマシテハ生産力ノ擴充ニ當テテ行キタイト考ヘテ居リマス、最近國債

ノ強制保有等ノ問題モ出テ參ッテハ居リマスガ、此ノ時局下ニ於キマシテ役人バカリガ國家ノ權力ヲ以テ總テヲ強制スルト云フヤリ方ハ私共ハ執リタクナイト考ヘテ居リマス、此ノ難局ハ一億國民ト共ニ切抜ケテ、行クコトガ最モ必要デアルト存ジマスノデ出來得ルナラバ強制ノ方法ヲ執ラズシテ、一般國民ノ理解ト協力ニ依リマシテ萬事遂行シテ行キタイト、斯ウ念願シテ居ル次第デアリマス、國債消化ニ付キマシテモ差當リノ問題ト致シマシテハ強制保有等ノコトハ考慮致シテ居ラナイヤウナ實情ニアリマス

○委員長(子爵西尾忠方君) 御諮ヲ致シマスガ、今時間ガ參リマシタガ、午後ハ大藏大臣モ拓務大臣モ御差支ガアルサウデアリマスカラ、本日ハ此ノ程度デ散會致シタイト存ジマス、明日ハ大體午前十時カラ開キタイト思ッテ今交涉致シテ居リマスガ、何レ彙報ヲ以テ御通知致スコトニ致シマス、本日ハ是ヲ以テ散會致シマス

午後零時三分散會

出席者左ノ如シ

委員長 子爵西尾 忠方君  
副委員長 男爵東郷 安君  
委員

公爵鷹司 信輔君  
侯爵池田 宣政君  
子爵梅小路 定行君  
子爵綾小路 護君  
男爵大藏 公望君  
男爵水谷川 忠磨君  
土方 久徵君  
堀 啓次郎君  
吉村友之進君

國務大臣  
大藏大臣 櫻内 幸雄君  
野村 徳七君  
風間八左衛門君  
米原 章三君

政府委員

大藏政務次官 木村 正義君  
大藏省主計局長 谷口 恒二君  
大藏省理財局長 相田 岩夫君  
大藏省銀行局長 入間野武雄君  
大藏省爲替局長 中村孝次郎君  
大藏書記官 永井 勻君  
拓務省管理局長 副島 勝君  
朝鮮總督府財務局長 水田 直昌君  
朝鮮總督府鐵道局長 山田新十郎君  
臺灣總督府總務長官 森岡 二郎君  
臺灣總督府財務局長 中嶋 一郎君

昭和十五年三月十三日印刷

昭和十五年三月十四日發行

貴族院事務局

印刷者 内閣印刷局